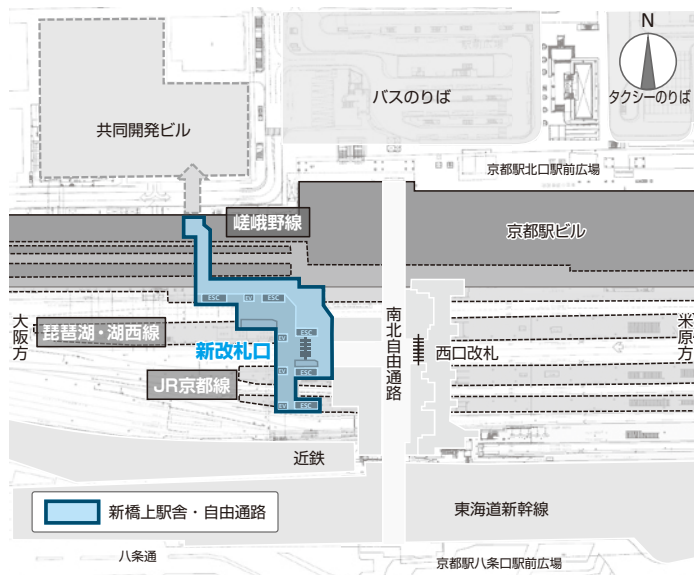


●京都駅新橋上駅舎・自由通路の整備

京都の玄関口である京都駅は、多くの市民やビジネス客、観光客が利用する京都市最大の交通結節点です。

駅の周辺では京都市立芸術大学の京都駅東部への移転をはじめとした、まちの活性化の取り組みが進んでおり、交通結節点としての更なる機能強化が求められています。また、時期や時間帯によって発生している駅構内や南北自由通路での混雑の緩和を図る必要があります。

こうした状況を踏まえ、京都駅構内および南北自由通路の改善のための京都駅新橋上駅舎・自由通路の整備を推進していきます。

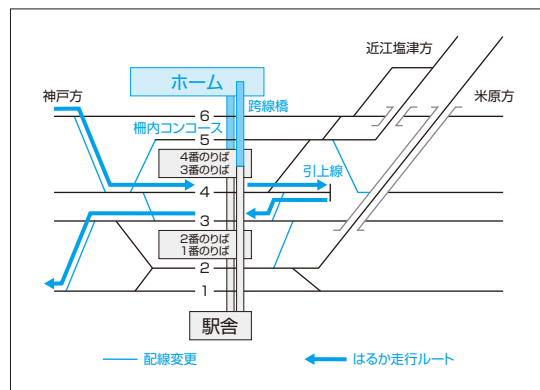
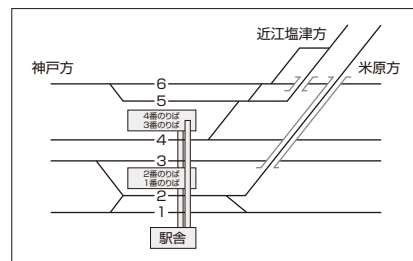


※設備概要は今後の設計および関係期間との協議により変更となる場合があります。

●山科駅改良

京都は、観光客をはじめ国内外の多くの方々が来訪するエリアであるため、京都駅の混雑緩和に寄与する新橋上駅舎・自由通路整備を推進するほか、京都市内アクセスに山科駅の活用を促す情報発信など、京都駅一極集中の緩和にむけた取り組みを行ってまいりました。

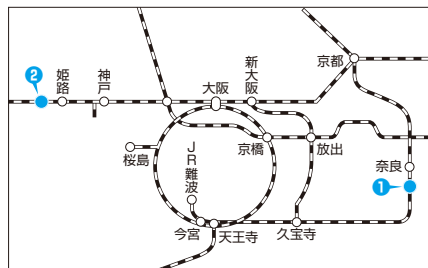
この度、山科駅を京の東の玄関口として利用いただくため、改良工事に着手することとしました。工事完成後は、京都駅発着としている特急「はるか」を山科駅まで延伸します。山科駅では地下鉄東西線等へ乗り換えいただくことで京都市内アクセスがより便利になります。



※設備概要は今後の設計および関係期間との協議により変更となる場合があります。

●新駅設置

当社では、駅を核とした地域のまちづくりに寄与するとともに、お客様の利用しやすい輸送機関となるよう、新駅設置工事を進めています。



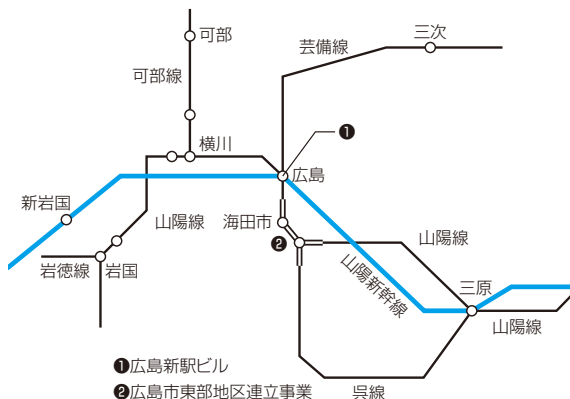
線 名	駅 間	設備概要	開業時期
① 大 和 路 線	奈 良 郡 山	高架下駅舎相対式ホーム2面	未 定
② 山 陽 線	姫 路 英 賀 保	橋上駅相対式ホーム2面	2026.3.14

②姫路駅～英賀保駅間の新駅は、「手柄山平和公園駅」として、2026年3月14日に開業しました。



■広島エリア関連プロジェクト

広島エリアでは、まちづくりと一体となった橋上化や駅改良、また、広島駅周辺の拠点性向上を目的としたプロジェクトを行っています。



●広島新駅ビル[ミナモア]

新駅ビルは、広島・瀬戸内の玄関にふさわしく、広島に新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることをめざし、商業・ホテル・駐車場を導入しました。

特に、駅ビル2階の路面電車が進入する空間は、広島駅中央口改札や新幹線口改札から段差なくフラットにつながり、駅と歩行者空間、商業施設が一体となった魅力的な空間を創出しています。また、駅ビル1階に整備される駅前広場ともつながり、ご利用しやすい公共交通ネットワークを形成しています。

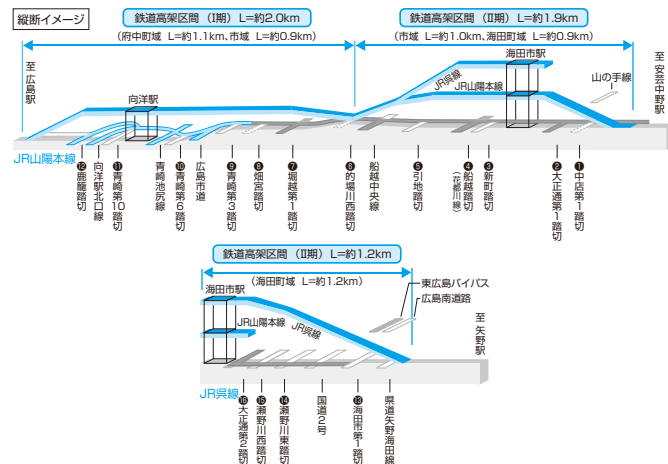
新駅ビルは2025年3月24日、路面電車の乗り入れは、2025年8月3日に開業しました。



●広島市東部地区連続立体交差事業

広島市東部地区連続立体交差事業は、広島都市圏東部地域の交通の円滑化や市街地分断の解消によるまちづくりを目的とし、広島県、広島市が行う都市計画事業です。

当社は、踏切除却による安全性向上、街の分断の解消によるまちづくりへの貢献等の観点から事業に寄与したいと考えています。



■大阪・関西万博での取り組み

当社グループでは、大阪・関西万博の会場へお越しになるお客様を安全・快適にお運びするための取り組みを実施したほか、万博の機運醸成や大阪駅（うめきたエリア）を中心とした「JR WEST LABO」の推進により、万博の成功に貢献しました。

【参考】大阪・関西万博概要

- テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
- コンセプト People's Living Lab
(未来社会の実験場)
- 会場 夢洲(大阪市此花区)
- 開催期間 2025年4月13日～10月13日



提供：2025年日本国際博覧会協会

●万博アクセス輸送

お客様の安全確保を最優先に、万博アクセス輸送を支える交通事業者として、次の取り組みを実施しました。

- ①JRゆめ咲線ルート(鉄道+シャトルバス)における取り組み
 - ・JRゆめ咲線の輸送力増強(エクスプライナーの運行など)、シャトルバス運行
 - ・シャトルバスへの乗換安全性向上のため、桜島駅臨時改札口を整備(会期中限定)
- ②Osaka Metro 中央線との乗換結節点である弁天町駅改良
 - ・駅舎および改札口の新設、昇降機器やバリアフリートイレなどの整備
 - ・Osaka Metro 中央線との乗換円滑化のための連絡通路およびホーム改札の整備
- ③持続可能な万博開催に向けた取り組み
 - ・JRゆめ咲線を走行する列車のカーボンニュートラル化
 - ・脱炭素に資するシャトルバス運行



弁天町駅新駅舎

●機運醸成の取り組み

当社グループが一体となり、万博の機運を盛り上げるべく、さまざまな取り組みを展開しました。

- ①当社グループのアセットを活用した機運醸成の取り組み
 - ・大阪・関西万博 ラッピング列車/新幹線の運行
 - ・主要ターミナル駅(大阪駅・新大阪駅など)の万博装飾
 - ・「万博サテライト会場(大阪駅・弁天町駅)」を活用したプロモーション
- ②ショップ展開など
 - ・当社グループ万博オリジナル商品の開発・販売
 - ・万博会場内外への「2025 大阪・関西万博 オフィシャルストア」出店



大阪・関西万博ラッピング列車(323系)



2025 大阪・関西万博 オフィシャルストア
西ゲート店 JR西日本グループ
© Expo 2025

●JR WEST LABO

「JR WEST LABO」では以下のめざす姿の実現に向け、「イノベーションの実験場」としてさまざまなパートナーとの共創によりオープンイノベーションを加速させ、新たな価値創造にチャレンジしました。

本取り組みは、「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジとして登録している活動であり、大阪駅（うめきたエリア）を「未来社会の実験場」として位置づけ、大阪・関西万博のテーマでもある「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に貢献しました。

- ①デジタル×リアルが生み出す新たな価値(サービス)
- ②人と技術が融合し、誰もが参画し活躍できるフィールド
- ③お客様と共に進める環境負荷軽減の取り組み



JR WEST LABO イメージ

■TWILIGHT EXPRESS みずかぜ 瑞風

西日本に数多くある日本の原風景とも呼べる場所を舞台に、山陰・山陽・湖国の地を運行する「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」。ホテルのような上質さと心休まる懐かしさを感じる車両、美しくうつろいゆく車窓、食の匠が監修する沿線の多彩な食材を使った料理、沿線の豊かな自然や歴史、文化。そして、沿線のみなさまによるあたたかいおもてなしと、一流のホスピタリティと美意識をまとったクルーたちによるご案内。お客様お一人おひとりに、ここでしか味わえない特別な列車の旅をご提供いたします。

(ウェブサイト) <https://twilightexpress-mizukaze.jp/>



●ネーミングとロゴマーク

「瑞風」とはみずみずしい風のことであり、吉兆を表すめでたい風という意味も併せ持ちます。「瑞穂の国」と呼ばれる美しい日本に、新しいトワイライトエクスプレスという風が幸せを運んでくる、そんな情景をイメージしました。

ロゴマークは、MIZUKAZEの「M」を山並みに見立て、吹き抜けていく風をトワイライトエクスプレスの象徴である天使で表現しました。

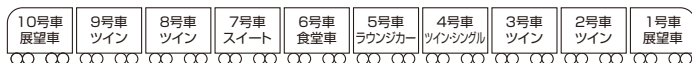


ロゴマーク

●車両

●編成

ザ・スイート1両、ロイヤルツイン(ユニバーサル対応)・ロイヤルシングル1両、ロイヤルツイン4両、食堂車1両、ラウンジカー1両、展望車2両(編成両端)からなる10両編成です。



●動力方式

ハイブリッド方式(ディーゼル発電機で発電した電力とバッテリーアシストによるモータ駆動)です。

●客室

3タイプの客室(ザ・スイート、ロイヤルツイン、ロイヤルシングル)を設け、定員は最大34名です。

●展望車

空まで望むことができる開放的な展望室から雄大な景色や星空といった車窓をお楽しみいただけるとともに、展望デッキでは沿線の風を感じいただけます。



展望デッキを含むエクステリア

●世界有数の客室

世界的にも希少なザ・スイートの客室は1両1室の広いスペースで、エントランスやプライベートバルコニー、リビング・ダイニング、寝室、バス付付きの本格的なバスルームを設置しています。

●建築、工業デザイン、食の第一人者が監修

京都迎賓館をはじめホテルや迎賓施設等の設計に携わってきた浦一也氏、新幹線をはじめ鉄道車両のデザインを手がけてきた福田哲夫氏や、食の権威で和洋を問わず食に造詣が深い門上武司氏に監修していただきました。

●運行開始 2017年6月17日(土)

●日程

1泊2日の片道タイプと2泊3日の周遊タイプをご用意し、1日1回立ち寄り観光を実施します。

●始発・終着駅

京都、下関の各駅から始まり、下関、京都に至ります。

●運行ルート・コース ※状況により、変更する場合があります。

山陰・山陽經由およびびわ湖周遊・周遊コースを含む、計5コース

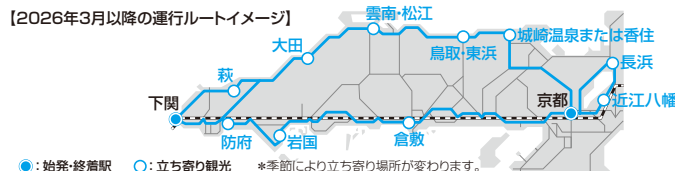
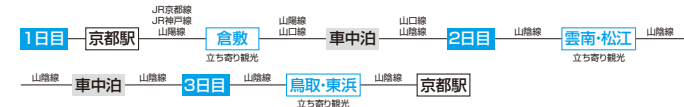
●山陰コース 1泊2日



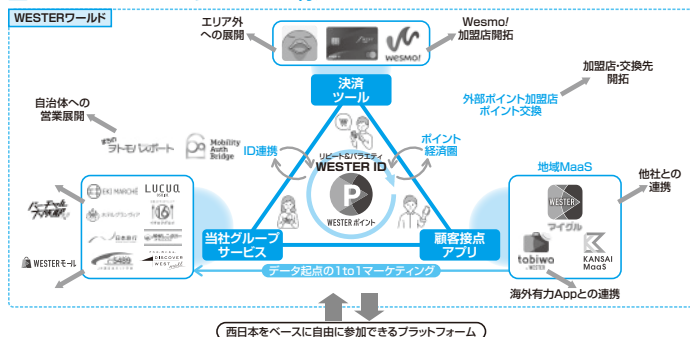
●びわ湖周遊・せとうちコース 1泊2日



●せとうち・山陰コース(周遊) 2泊3日



■WESTERがめざすサービス像とは



当社グループはこれまで鉄道・物販飲食・ショッピングセンター・ホテルなど多様な事業を展開してまいりました。加えてデジタル技術を活用することにより、お客様の心を動かし、未来を動かしていきたいと考えています。

お客様の生活に寄り添うアプリや、決済ツールといったサービスによってこれらを“つなげて”、リアルでもデジタルでもお客様の生活に寄り添うこと。そして、WESTER会員サービスを活用し、グループデータマーケティングによってお客様一人ひとりに合ったサービスを提供しつづけることで、これまでとは段違いに「便利」で「おトク」で「楽しい」WESTER体験を作ろうとしています。

さらに、グループ外の事業者や、地域との連携を深め、ひと、まち、社会とつながることでWESTERワールドの構築をめざします。

■WESTERポイント

WESTER体験の中核を担う、JR西日本グループ共通のポイントサービスとして2023年3月に開始した「WESTERポイント」。

鉄道のネット予約や、SCでのお買い物ものに、ホテルでの宿泊など、暮らしのさまざまな場面で「たまる」「つかえる」ポイントサービスをめざします。

WESTERポイントを活用し、お客様一人ひとりの利用するサービス数の増加や、店舗での購入金額の増加を図るキャンペーンを展開していきます。また、WESTERポイントをつかえる鉄道グッズや、グループのアセットを活用したポイント利用商品を拡充することで、つかって、またためたいポイントサービスをめざします。

WESTER会員数はおよそ1,300万人。(2026年5月末時点)



WESTERポイント

■移動生活ナビアプリ「WESTER (ウェスター)」

「便利」で「おトク」で「楽しい」の源であり、グループデジタル戦略の中核となるのが、移動生活ナビアプリ「WESTER(ウェスター)」です。当社グループや社外も含めさまざまなサービスと連携し、お客様とのデジタル領域における統合的接点となります。そして、WESTERを通じて24時間お客様とつながり続け、さまざまな魅力あるサービスを発信します。さらに、集まってくるデータを利活用してさらに良いサービスをお客様に体験いただきます。それにより、1to1マーケティングを実現し、「WESTERを開けば、移動が安心。『行きたい』『ほしい』が見つかる。お出かけがたのしくなる」アプリをめざし、進化を続けていきます。



■tabiwa by WESTER

おトくに、便利に旅行を楽しむことができるツールとして、目的地までのおトくなJRセットプランや宿泊プランを発売する「tabiwaトラベル」や、旅の目的となる特別なこだわり企画、北陸・せとうち・山陰・九州エリアの鉄道・バスなどが乗り放題の周遊バスや観光・グルメのチケット、おトくなクーポンなど、旅に必要なサービスを展開しています。

西日本エリア地域の活性化が当社グループの長期持続的な成長につながるとの認識のもと、データやデジタル技術を駆使し、コト消費やヒトの移動の創出に取り組んでいます。



■決済・ウォレットサービス「Wesmo! (ウェスモ)」

Wesmo!のブランドコンセプトは「Moving is Value.」。

Wesmo!を通じて、日常生活の買い物や食事をする、電車に乗って移動する、といった動きを活性化させ、「楽しい」、「また行きたい」と感じ、人が動き、経済も動くといった価値があるものに変えていきます。そして日本中にたくさんのご最員(また行きたくなる場所、応援したくなるお店、というようなお客様とお店、お店と取引先などのつながり)を創出してまいります。

